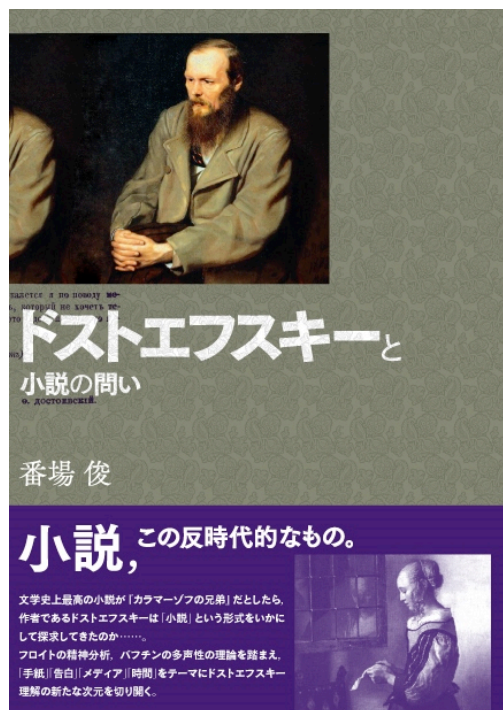


ドストエフスキー、 作家の顔、小説の声

講師 番場 俊 (新潟大学准教授)

フーコーといえば誰でもあのスキンヘッドの精悍な顔つきを想起するし、バルトのあの優しい表情を思い浮かべずに『明るい部屋』を読むことはほとんど不可能だ。ドストエフスキーの陰鬱極まりない顔も同様である。だが、文学や思想を読みながら「作家の顔」を思い浮かべるとは、いったいどういうことなのだろうか。小説はフィクションである。フィクションであるからには、端的に嘘といってもよい。ならば、「ドストエフスキー」の名のもとにその小説を論ずるとは、どのような営みののだろうか。「小説の声」は、はたして誰に帰属するのか――



第13回の新潟哲学思想セミナーは、講師に番場俊先生をお迎えします。番場先生は、新潟大学でも長く教鞭を執っておられ、ご存知の方も多いのではないのでしょうか。昨年末には、待望のご著書『ドストエフスキーと小説の問い』（水声社）が上梓されました。今回のセミナーは、本書にちなんで、『罪と罰』や『カラマーゾフの兄弟』でよく知られたロシアの小説家ドストエフスキーの新しい「顔」、今日性に迫ります。番場先生ならではのドストエフスキー入門となるセミナーです。多くのみなさまのご来場をお待ちしています。

◎ 講師プロフィール：番場俊（ばんば・さとし）1969年生まれ。東京大学大学院総合文化研究科博士課程単位取得満期退学。新潟大学人文学部准教授。専門は、ロシア文学・表象文化論。著書に『ドストエフスキーと小説の問い』（水声社、2012年）ほか。

日時 2013年4月4日（木）17:30—19:00

場所 新潟大学人文社会学系棟 第一会議室（B棟2階）

◎ 新潟哲学思想セミナー（Niigata Philosophy Seminar：通称 NiiPhiS [ニーフィス]）とは

2009年から新潟大学を拠点に活動している公開セミナーです。新潟における知の交流の場となるよう、毎回、精力的にご活躍の講師をお招きして、哲学・思想にまつわる諸問題に幅広く積極的に取り組んでいきます。予約等はいっさい必要ありません。どなたでもご自由にご参加ください。

主催：新潟哲学思想セミナー（世話人＝宮崎裕助・城戸淳）／共催：新潟大学人文学部哲学・人間学研究会
お問い合わせ：宮崎裕助（E-mail: yusuke@human.niigata-u.ac.jp）